



商工中金景況調査（2022年2月調査・定例分）の公表について

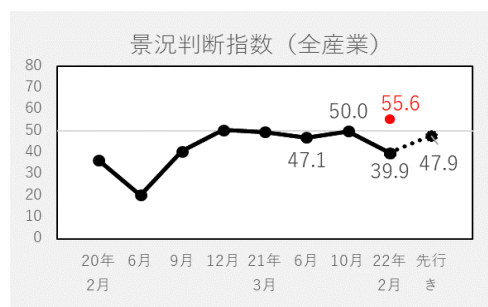
商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しており、今般、2022年2月調査のうち、毎回共通している質問項目（定例分）の結果について公表しました。

<2022年2月の景況感>

感染拡大や素原材料価格の高騰に伴い、景況感は再び「悪化」超に

2月の景況判断指数は前回比下落し、「悪化」超の39.9となりました。

先行きの景況判断指数は47.9と、今月比で上昇するも依然として「悪化」超に留まる見通しです。

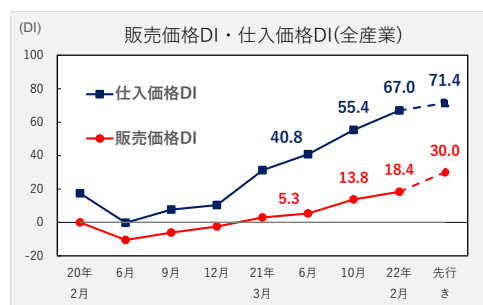


<2022年2月の業況判断>

販売価格の「上昇」超幅の拡大を上回るペースで仕入価格の「上昇」超幅が拡大

販売価格DI、仕入価格DIともに前回調査時点よりも「上昇」超幅が拡大しましたが、仕入価格DIは引き続き販売価格DIを上回る拡大ペースになっているほか、10月時点の先行き見通しよりも+9.4ポイントと大幅に上振れました。

いずれのDIの先行きも、今月比でさらに「上昇」超幅が広がる見通しです。



- ・本編資料は[こちら](#)をご覧ください。
- ・トピックス調査分(中小企業の商圈変化について<仮>)は2022年4月上旬頃公表予定です。